

令和2年度 第2回 芦別市子ども・子育て会議 会議録

【開催日時】

令和3年1月13日（水） 午後6時～午後6時30分

【開催場所】

子どもセンターつばさ1階 小学生クラブ室

【出席者】

《子ども・子育て会議委員》

瀬戸会長、太田(啓)委員、村上委員、橋本委員、中村委員、坪江委員、大下委員、岡部委員  
8名

《事務局》

富山市民福祉部長、中村児童課長、渡辺係長、江藤主任、藤井主任 5名

【会議次第】

1 開 会 中村児童課長

コロナ禍の中で会議等も自粛している中ではあるが、みどり幼稚園が認定子ども園へ移行するにあたり、第2期子ども・子育て支援事業計画の「量の見込み」について変更が生じることとなり、北海道と計画変更の協議を行う際には本件が市町村子ども・子育て会議で審議された議事録の提出も必要であるため参集いただいた旨、会場内の密を避けるため事務局体制についても縮小して開催することを説明。

2 市長あいさつ

3 会長あいさつ 瀬戸会長

4 議 事

(1) 報告事項 (事務局より一括して説明)

- ① 令和2年度市内保育所等入所状況について (資料1)
- ② 令和3年度市内保育所等入所予定者について (資料2)
- ③ その他

(事務局説明)

資料1

資料については1月1日現在で作成しており、保育園リリーは合計19名が利用で、定員上限までの利用となっております。

つばさ保育園については71名の利用であり、保育園リリーとつばさ保育園で合計90名が保育所等を利用している状況となっております。年齢別については記載のとおりであります。

令和3年1月1日現在の待機児童は、0歳児5名となっております。

## 資料2

昨年11月2日から11月30日まで保育所等入所申込み受付を行い、新規32名、継続68名の合計100名の申込みがありました。

令和3年4月からの、保育園リリーの入所予定者数は22名、つばさ保育園の入所予定者数は71名、令和3年4月より認定子ども園へ移行するみどり幼稚園の2号認定入所予定者数は18名となります。

保育園リリーの利用定員は19名ですが、設備運営基準等が満たされている場合に限り定員の2割増しまで弾力化が認められております。設備運営基準とは面積・保育士が確保されている場合であり、保育園リリーは、この条件を満たしているため定員の弾力化が認められることとなり、22名まで利用できることとなります。

つばさ保育園の利用定員は110名ですが、保育士不足により利用定員まで入所が出来ない状態となっております。

令和3年4月1日の保育所入所申込者数は100名で、入所予定者数は93名、7名の方が入所待ち、或いは入所保留となります。入所待ちとは家庭での保育が可能である方、入所保留とは職場復帰等で保育が必要な方であり、すなわち待機児童となります。

保育所等に入所ができなかった7名全ての方には電話連絡を行い、入所待ちで良いか、入所保留にするのかを確認済みであります。年齢別では0歳児4名、1歳児2名、2歳児1名となっており、令和3年4月1日では1名が待機児童となる予定であります。その他の6名については家庭での保育が可能であるとのことから入所待ちとなります。

みどり幼稚園の協力もいただきながら、今現在リリーに入所している子どもが満3歳になると幼稚園へ入園しますので、その空きができたところに、随時入所待ちしている1歳児2名と2歳児1名が入所する予定であります。

市としても保育士確保のため1月広報で保育士の募集をしているところでありますが、0歳児4名については、保育士の確保等を踏まえてからの対応となる予定であります。

その他報告事項及び質問なし。

## (2) 協議事項

### ① 認定子ども園への移行に伴う、子ども・子育て支援事業計画の変更について

(事務局説明)

## 資料3

昨年7月に開催した第1回子ども・子育て会議において、みどり幼稚園が認定子ども園へ移行する説明をし、定員数の変更について審議・了承を頂いたところでありますが、今回、認定子ども園の移行に伴い、昨年度作成いたしました第2期芦別市子ども・子育て支援事業計画における量の見込み、確保の内容に係る数値の変更が生じることとなるため、改めて審議をお願いするものであります。

会議資料3については、第2期計画書の58・59ページを抜粋して掲載しており、変更箇所については、1号認定及び2号認定の量の見込みを記載している表の部分となり、上段が当初計画、下段が変更後の数値となります。

この計画書で定めた必要利用定員総数(量の見込み)は、本市における子どもの数の推計値

と過去の利用実績を勘案して独自に算出するものとして、昨年度の子ども・子育て会議の中で審議・了承を頂いて策定した量の見込み数であります。

今回の変更においても、当初計画の算出方法を踏まえつつ、令和6年度までの子どもの数の推計値と、既に申込み受付を完了した令和3年度入所予定児童数と実績値を勘案して算出をしております。

また、確保の内容（利用定員）数値についても認定区分ごとの定員数変更に伴い、1号認定及び2号認定の確保の内容を変更しようとするものであります。

確保の方策につきましては、量の見込みを記載している表のとおり、変更を行う令和3年度以降も供給量が確保される見込みとなっていることから、そのように記載内容の変更を行うものいたします。

計画の変更に係る説明については以上となります。

（会長）

協議事項に関してみどり幼稚園から何か質問などありますか。

（委員）

認定子ども園への移行に関しての協議にあたり、皆様の参加を頂き感謝申し上げます。

詳しい内容については事務局より説明がありましたが、本園も市内の教育・保育を希望する方々の要望に応えるべく人材不足でもある中3名の有資格者を採用することができ、より一層子ども達を受け入れる体制が整ってきた状況でもあります。

それでも、より手厚くしていきたいとの思いもあり、引き続き人員募集を行うことも考えております。今回の3名の採用は大変ありがたく感じており、保育補助員などの増員もしながら一層手厚い教育・保育を進めていきたいと思ひ皆様のご協力をお願いしたいと考えております。

他に質問等が無く、認定子ども園への移行に伴う、子ども・子育て支援事業計画の変更については異議が無く了承された。

5 その他 特になし

6 閉会（事務局）

4月1日現在で保育所等へ入所できない子どもが発生した状況は初めての事だと思われます。人数については事務局より説明があったとおり7名となります。

この解消に向けて実施しなければならない課題として、先ずは保育士の確保が第一優先であると考えております。

みどり幼稚園にはご尽力いただいて職員確保もしていただいております、市も保育士確保として1月広報で募集しているところでもあります。

7名の待機が発生した背景としては、母親が生後8週から働きたいとの意向が増えており、芦別に限らず全国的に0歳児が増えてきております。このような中で保育士確保に向けて動きを進めておりますが、市内に潜在的な保育士の知り合いが居る場合は、是非ともご紹介いただきたい旨の協力を依頼して閉会とした。